

海士町社会福祉協議会からのお知らせ

新年のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
日頃より当協議会の活動に対し、多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。昨年度は、海士町社会福祉協議会の「ビジョンマップ」を作成いたしました。120名の役職員が理念を実現するために大切なことを共有し、海士だからこそできる福祉活動を可視化したところです。本年も、いつまでも暮らし続けられる福祉のまちづくりの実現に向け、地域のつながりを一層大切にし、皆さまと共に歩む一年としたいと存じます。
新しい年が皆さまにとって幸多きものとなりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。
海士町社会福祉協議会 会長 杵築 泰久

民生委員より

12月1日より、民生児童委員・主任児童委員が一斉改選され、新たな体制で活動をスタートしました。民生児童委員は地域の皆さんが安心して暮らせるよう、身近な相談相手として各地区に配置されています。また子どもや子育てに関する相談を専門に担当する主任児童委員も町内に1名配置されています。民生児童委員は地域の皆さんに寄り添いながら活動を続けてまいります。



赤い羽根共同募金 ご協力のお礼

この度は赤い羽根共同募金にご協力いただき、誠にありがとうございます。地域の皆様から寄せられた募金は、地域の高齢者や障がい者、子どもたちなどへの地域福祉活動に大切に活用させていただきます。
皆さまのご理解とご協力に感謝を申し上げますとともに、今後とも赤い羽根共同募金へのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

諏訪苑 ぜんざい

産業文化祭に「ぜんざい」を出店させていただきました。昨年に続き、紅白の白玉に、甘く煮たサツマイモを入れ出雲風ぜんざいとして販売しました。「去年、美味しかったから楽しみにしていたよ」とリピーターになってくださっている方もいましたし、「まだあるかい？」と3杯も召し上がってくださいました。予定していた100杯を完売することができ、嬉しさのあまり既に次の産業祭の企画を練ろうとしています。



諏訪苑マン

海士町社会福祉協議会では地域活動で使用する季節行事などの着ぐるみを貸出しております。
なお衣装の数には限りがありますので、事前に☎2-0010までご連絡ください。



※写真は正義のヒーロー諏訪苑マンの衣装です。

福来の里のクリスマス

今年も楽しいゲームやつなかけの美味しいケーキで楽しんだクリスマスでした。ビンゴゲームでは今年から施設長になった施設長サンタが来るので利用者様にプレゼントを配っていました。



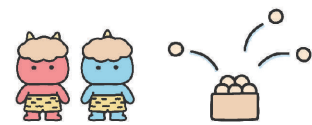
あったか感謝祭レポート

11月27日にひまわりであったか感謝祭を行いました。利用者さんと一緒に昼食をとり、日々の感謝を伝えました。職員が一生懸命練習した民謡や演芸を披露したり、初音会のみなさんも平日のなか参加していただきました。利用者さんからは大きな拍手を頂き、最後はみんなで大合唱！笑顔が絶えない素敵な会となりました。



節分の豆まきの豆の募集

海士町社会福祉協議会から願ひ申し上げます。
来年2月に各事業所にて毎年恒例の節分の豆まきを開催したいと思います。そこで大変恐縮ですが節分で使用する豆を無償で提供してくれる方を募集しています。誠に身勝手なお願いではありますが毎年楽しみにしている利用者さんの為に宜しくお願いします。詳しい詳細は海士町社会福祉協議会ひまわりにご連絡下さい。



編集後記

あけましておめでとうございます
海士町社協広報もおかげさまで新年を迎える事が出来ました。
昨年も地域の皆様のご協力の上、社協として様々なイベントに参加させていただき事ができ、利用者様の笑顔もたくさんお届けする事が出来ました！
2026年も福祉プロジェクトやビジョンマップ等、新しい事にチャレンジを続けたいと思います！そして更にパワーアップした社協を発信して行きたいと思っています。乞うご期待！
まだまだ厳しい寒さが続きますが、ご自愛ください。
(広報委員 湯川)

社会福祉法人 海士町社会福祉協議会

日々更新中！最新情報はHP.SNSをご覧ください

〒684-0403 島根県隠岐郡海士町大字海士3969番地1
電話 08514-2-0010 FAX 08514-2-0600
mail ama-syakyo@snow.ocn.ne.jp
発行日 令和8年1月20日



公式サイト



Instagram



Facebook



n o t e

あま なは協カニュー

2026年新春号

タスキを繋ぎゴールする喜びは、順位より上

- ▶ビジョンマップ作成
- ▶諏訪苑魅力化プロジェクト
- ▶さくらまつりレポート
- ▶こどものまちってなに？

※写真は崎スーパー駅伝大会（2025年11月29日）

こどもワールド in あま



12月13・14日保健福祉センターひまわりで小学生を対象に「こどもワールド」を開催しました。「こどもワールド」は町には何が必要か大人の支援なく子どもたちだけで考え模擬の町をつくり運営する体験イベントです。

イベントは6月に小学生たちで構成する実行委員会が立ち上がり、「町長が必要だね」「こんなお店をやりたい」「お金もつこう」「銀行も」と子どもたちの町のイメージが出来上がっていました。

当日、多くの小学生が参加してくれました。町にはお金が欲しいけど働くところがない子どもが溢れ大混乱。それを解決するため小学生町長がイベントを急遽開催し、徐々に町は動き始めます。こどもワールドの通貨「アマーノ」を貯めて起業する子たちが出現すると、今度は起業する子が増え始め、アルバイトとお客さんが不足するなど、な問題が発生します。

次々と町で起きる問題を子どもたちだけで解決方法を探る様子は大人の想像をはるかに超えて驚かされ続けました。子どもを信じて委ねることで生まれるパワーを実感した2日間でした。



さくらまつり

12月13日（土）5年ぶりのさくら祭りが開催されました。さくら祭りはさくらの家（就労継続支援B型作業所）の利用者さんと地域住民の交流を目的に2011年から行われています。コロナなどの関係で長い間できなかった祭りを利用者さんと島留学生と一緒に企画し、実施することができました。久しぶりの開催で戸惑うこともありましたが、当日は天気も良くてたくさんの方に参加していただきました。ふるまい団子や惣菜、さくらカレーは大人気。利用者さんとのふれあいコーナーではたくさんの方と交流することができとても嬉しい時間となりました。

さくらまつりでは、映画『僕と君が生きた証』上映会のほか、ご来場の皆さんと温かな時間を過ごせました。さくらの家に満ちる優しい空気に触れていただけたことを心より嬉しく思います。

（大人の島留学生 谷内 幹生）



「うなぎの寝床（はんでん、モンペ）」の商品販売を行い、利用者さんもお客さんも地域のものづくりに触れる良い機会となりました。久留米餅（かすり）の温かさに興味を持ってくださる方も多く、交流を通して新しい発見が生まれた時間になりました。

（大人の島留学生 緒方 心暖）

諏訪苑 魅力化 —「想い」から生まれる、新たな居場所づくり— プロジェクト



特別養護老人ホーム諏訪苑は今年度、老朽化した施設の部屋やホールなどを整理し、ご利用者、ご家族、地域の方々、スタッフなどのために有効活用できないか検討していました。そんな想いの中から、諏訪苑魅力化プロジェクトは動き出しました。

大人の島留生を担当されていた 松場千紘さん(島前ふるさと魅力化財団 還流事業部)を中心にこのプロジェクトが立ち上がりました。現在は14名の島留生が登録してくれています。

（※新規メンバー募集中）

発想豊かな活用案が数多く出る中で、プロジェクトメンバーがアンケートを実施し、ここを使う人たちは、どんな場所を望んでいるのか調査しました。

アンケート結果では、諏訪苑が皆が集い落ち着ける場所であってほしいということでした。プロジェクトのメンバーの活動は 座ると幸せになる「ハッピーベンチ」を制作し、諏訪苑をもっとわかりやすくするための「看板づくり」を実施しました。具体的なアイデアが形になり始めています。

今後は、Wi-Fi環境の整備を進めながら、ワークスペース、個展の開催場所、マーケット・マルシェなど、多様な活用も検討中です。また、ご利用者の笑顔を引き出したい、日々をもっと充実させたい、という想いから、各種レクリエーションの企画・実施も始まっています。これからの諏訪苑にぜひご注目ください。

ハビネスベンチを
手作りました



ビジョン マップ 完成!

私たちが目指す福祉は 住民と一緒に想いを叶える世界

海士町社会福祉協議会は、令和5年の法人合併を経て、約100名の職員が働く大きな組織へと生まれ変わりました。年齢も出身も異なる多様なメンバーが集まった今、私たちが目指すべき未来のカタチを一枚の地図に込めたビジョンマップが完成しました。

法人理念

私たちは、福祉に取り組みむものとして誇りと使命感を持って、住民一人ひとりの尊厳を大切に、住み慣れた海士町で暮らす福祉のまちづくりを目指します。

キーワード

あま「島だから...?」を
あま「島だからこそ〇〇」に

「島だからこそ〇〇」にするってどういうこと？
「島だから」の後に「しかたない、できない、やめよう」という後ろ向きな言葉が続くのではなく、「島だからこそ」と前向きな見方をつくり出し、暮らしの可能性を無限にしていきます。それには、私たち一人ひとりが町民やご利用者、町外の方、職員が一緒になって、共にすることを大切にします。

見方と意識を変える

「一、願いを実現する
「暮らし続けたい」「かがい」という想いに応えたいを
実現します
二、共につくりだす
「いいものはない」「から、様々な方々を巻きながら町民の声を聴いていきます
三、質を高める
「ある」ものを機能させ、組み合わせで、形を変えながら暮らしの質を高めます

ビジョン

海士町社会福祉協議会

右回りでも左回りでも
同じ道の上にある
私達のビジョン

海士町社会福祉協議会の五つの姿

一、町民の心をい
つも真ん中に
置いて、暮らしを支える
（住民主体）
二、誰もが安心して
暮らすための
居場所になる
（場づくり）
三、あるものをかけ
あわせてなん
とかする
（社会資源の活用）
四、一人ひとりが
生きた心地を
感じながら、
つながり
（つながり）
五、町民や関係先
とつながり
もち、ネット
ワークを大切
にする
（コーディネート）

私は「島だからこそ」

する

私の八つの試み

八、いつも感謝の気持ちを持つ

七、他人事は「我が事」
六、得意なことを見つけて
取り入れる
五、「わからない」と言っている
心を持って、楽しむ
四、わくわくする気持ちで探求
心を持って、楽しむ
三、「お互い様」を当たり前に！
二、相手が気持ちよくなる
あいさつをするぞ！
一、からだに心に気を配る

チームの六つの考え方

六、見方を改めて柔軟
に考えてみよう
五、みんな「やばい」
（しんどい）
四、やりがいを見つけ
合おう
三、お互いを認め合おう
二、一緒に考えてみよう
一、居場所は心地よい
ものに

仲間や仲間と向き合っていて、チームで成し遂げるには？
自分や仲間の「できた」を喜び合い「やってみよう」を一緒に考えて行動して。そして、得た成功も失敗もチームの財産にしていこう。